

※学習したことは、すべてノートに記入しておこう。

(後から復習に使えるよう、日付・単元名・課題のアルファベット等も書いておこう。)

Step 1 -教科書を読んでみよう-

- A** 「Unit 1 の目標」(教科書 P.6)を読み、ノートに書こう。
- B** Unit 1 の本文(教科書 P.6~12)を通して読んでみよう。(2回以上。読んだ回数をノートに書こう。)
- ・【1回目】読み方や意味が分からなかった部分に、アンダーラインを引いておこう。
 - ・【2回目以降】「この部分はこんな意味かな」と予測して読んでみよう。
- C** 教科書 P.6~12 の「語句」を、辞書や Word List (教科書 P.112~131)で調べてノートに書こう。
- ・電子辞書やインターネットの辞書の中には、語句の発音を確認できるものもあります。
 - ・**B**で読んだときに予測した意味と、調べた意味とを比較してみよう。
 - ・語句の意味が確認できたら、内容を意識しながらさらに本文を音読してみよう。(回数をノートに書こう)

Step 2 -教科書の内容を確認しよう-

※本文を読みながら、以下の問いに答えよう。(答えはノートに書こう。)

【P.6 Starting Out】

- D** 誰の絵画が紹介されていますか？
- E** 紹介された絵画では、どのような絵が使われていますか？

【P.8 Dialog】

- F** 2つの絵画のうち、右側の絵画の作者は誰ですか？
- G** その絵画は何年に描かれましたか？
- H** その絵画が描かれた時代に、ヨーロッパで人気だったのはどの国の文化ですか？

【P.10 Read and Think 1】

- I** 日本の漫画とアニメの代表的なキャラクターとして取り上げられているものを2つ答えなさい。
- J** 2012年に香港と台湾で行われたドラえもんに関するイベントは何ですか？
- K** 日本のポップカルチャーを端的に言い表している日本語を答えなさい。

【P.12 Read and Think 2】

- L** 浮世絵は江戸時代にどれくらい人気がありましたか？人気度合いがわかるエピソードを答えなさい。
- M** 光太は、漫画やアニメは将来どのような存在になると予測していますか？
- N** P.6~12 の本文の内容を、場面を意識しながらノートにまとめてみよう。

Step 3 -自分の意見を答えよう-

※次の問いに、本文の内容を踏まえて自分の考えで答えよう。(ノートに書こう。)

O P.11とP.13の『Q&A』の各問いに、英語で答えてみよう。

P 日本のポップカルチャーが海外でどのように受け止められているか、Unit 1 で用いられている英語の表現も使いながら2文程度の英語でまとめてみよう。

※英語でうまく書けなかったことは、日本語で説明を加えてもOKです。

Q 漫画やアニメなどのポップカルチャー以外で、日本文化を一つ取り上げ、その説明を英語で書いてみよう。

※できるだけ詳しく説明してみよう(目標は3文以上)。写真やイラストを使ってもOKです。

Step 4 -学んだことを振り返り、まとめよう-

【Unit 1 の新出表現】

P.7 This painting is loved by many people. (この絵は多くの人によって愛されている)

- ・be 動詞+過去分詞(下線部)で、「～される」という意味を表す。【『受け身』と呼ぶ】
- ・『過去分詞』…動詞の変化形の一つ。
 - 「規則動詞(edをつける動詞)」は、過去形と同じ形
 - 「不規則動詞(P.138～139に掲載されている動詞)」は、違う形になることもある。
- ※P.138～139『不規則動詞変化表』を確認し、よく使う動詞はノートに練習しよう。
- ・『受け身(be 動詞+過去分詞)』の疑問文・否定文は、他の be 動詞を用いる文と同じように作る。

R P.7の『基本練習』と『Write』に挑戦し、英語の文を書いてみよう。

S P.9の『基本練習』と『Write』に挑戦し、英語の文を書いてみよう。

P.13 This idea makes me happy.

(『この考えは私を幸せにする』⇒『こんなことを考えると、私は嬉しくなる』)

- ・『make+A(名詞)+B(形容詞)』で、『AをBの状態にする』という意味になる。
- ・そのままでは不自然な日本語になることが多いので、『AのおかげでBの状態になる』などと言い換えることが必要な場合もある。

T P.13の『基本練習』に挑戦し、英語の文を書いてみよう。

P.11 Doraemon was given special birthday parties.

(ドラえもんは特別な誕生日パーティーをしてもらいました。)

- ・『give+人+物』(人に物を与える)の表現を受動態にする場合、『人 is given (giveの過去分詞)+物』(人が物を与えられる)という形になる。

【Unit 1 の学習を振り返って】

※次の各問いに答えながら、Unit 1 の学習を振り返ってみよう。

U Unit 1 で初めて知った語句・表現・内容等についてまとめ、ノートに書いてみよう。

- ・**B**でアンダーラインを引いた部分の意味を、再度確認しておこう。

V Unit 1 で難しいと感じた表現やもっと知りたいと思った内容について、ノートにまとめてみよう。